

外国人の人權

クレヨンや絵の具、色鉛筆から『はだ色』がなくなったことをご存知でしょうか。
日本は、人種差別に対する意識が低いと言われてきました。その一例として、私たちが『はだ色』として思い浮かべる色は、世界共通のものではなく、一部の人の価値観を一般化した固定観念でした。本来、実際の肌の色を表すものではないにもかかわらず、日本では慣用色として受け入れられてきました。

消費者からの声によって

多様な国籍の人が暮らす社会となり、「1つの色を『はだ色』とするのは差別的ではないか」という声が寄せられたことをきっかけに、業界団体が色名を見直ししました。メーカーの判断により、色鉛筆は2000年に、クレヨンと絵の具は2007年に「はだ色」という色名の使用を取りやめ、新しい色名「うすだいだい」へ変更されました。

国際社会へ目を向ける

例えば、現在でも残る黒人差別を中心に、差別問題への理解を深めていくことは、国際社会へ目を向ける第一歩となります。
世界には多様な人種や民族が共に暮らしており、日本でも昨年度の登録外国人は、約395万人、県内でも2万人を超え、外国人は身近な存在となっています。
差別の根底には、『違い≠優劣』という誤った考え方があります。しかし、一人ひとりに優劣はなく、それぞれ異なる『個』です。色名変更の経緯を知ることによって、身近な差別やいじめなどの人権問題について考え、互いを尊重できる社会をめざしましょう。

多文化共生社会に向けて

言葉や生活習慣などの違いを『単なる違い』と受け止め、互いの人権を尊重することが、多文化共生社会につながります。「郷に入れば郷に従え」だけではなく、多様なものを受け入れ、互いに新たな価値を見出すことで、誰もが住みやすい地域の活性化につながると信じます。

▼問い合わせ

人権課 ☎73・3008

☎ 農林水産課 73-3040

みとよは旬の宝庫 産直だより ④

『良心市たかせ』

1日約800人が訪れる人気の直売所です。400人以上の地元生産者が出荷する新鮮な野菜や果物、米、加工品、花、魚、肉、パンなど、地元の魅力が詰まった豊富な品ぞろえが魅力です。

店内には、野菜ごとに特徴やおすすめの食べ方、レシピが掲示されており、味や食感、旬、新鮮な野菜の選び方などを分かりやすく紹介しています。栄養や健康効果も知ることができ、献立づくりにも役立つ内容です。

9月は、ピオーネやシャインマスカットなど、ブドウがおすすめです。旬ならではの甘みとみずみずしさを味わえるこの時期は、多くの人でにぎわいます。

また、毎週木・土・日曜日の午前中には、新鮮な魚も販売しています。ポイント会員になると、お得に買い物ができる特典もあります。

基本情報

名 称	良心市たかせ	☎74-7943
住 所	高瀬町上麻1647番地	
営業時間	午前7時～午後6時	
定 休 日	1月1日～3日	



◀産直市の詳細はこちらから

9月20日(日)～26日(土)は動物愛護週間

人と動物が安心して暮らせるまちへ

飼い主の皆さんに守ってほしいルール

☎ 環境衛生課 73-3007

🐾 最期まで命の責任を持つ

動物の遺棄や飼育放棄、虐待は、犯罪です。

🐾 マナーを守る

散歩時に出た犬のふんは、必ず持ち帰ってください。放し飼いやノーリードでの散歩は、県の条例で禁止されています。

🐾 猫は室内で飼う

猫にとって、屋外は交通事故や感染症などの危険がいっぱいです。また、ふん尿などで近所に迷惑をかけてしまうこともあります。

🐾 むやみに繁殖させない

飼い犬や飼い猫に対する、市の「不妊去勢手術の補助制度」を活用してください。

補助金額 1頭につき 3,000円



▲詳細はこちらから

🐾 動物による感染症の知識を持つ

動物の体調に気を配ってください。

犬の飼い主には、飼い犬の登録と年1回の狂犬病予防注射が義務付けられています。

登録窓口 環境衛生課または各支所
予防注射 集合注射または動物病院

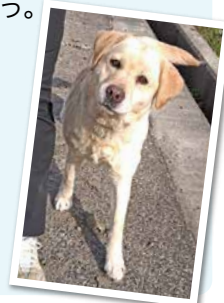
🐾 脱走・迷子に気をつける

行方不明になったときは、すぐに保健所や警察署、環境衛生課に連絡してください。

日頃から、飼い主の連絡先などを書いた迷子札を首輪に付けておきましょう。

🐾 災害に備える

水やエサなどを備蓄し、避難したときのためにケージやキャリーバッグに慣らしておきましょう。



9月10日(木)～16日(水)は自殺予防週間 あなたもゲートキーパーに

昨年は全国で約2万人が自殺で亡くなっています。自殺は多くの場合が追い込まれた末の死であり、防ぐことのできる社会的な問題です。

悩みを抱えた人は、「人に悩みが言えない」「どこに相談に行ったらよいか分からない」といった状況に陥ることがあります。『ゲートキーパー』とは、悩んでいる人に気付いて声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る人です。

- 👂 気付く 家族や仲間の変化に気付いて、声をかける
- 👂 聴く 本人の気持ちを尊重し、耳を傾ける
- 👂 つなぐ 早めに専門家に相談するように促す
- 👂 見守る 温かく寄り添いながら、じっと見守る

1人でも多くの人が、ゲートキーパーの意識を持つことが大切です。



【こころの相談窓口】 福祉課 ☎73-3015 (平日 8:30～17:15)

保健師や社会福祉士が対応します。秘密は固く守ります。気軽にご相談ください。



◀相談窓口一覧はこちらから

1人で悩まないで ひきこもり相談

【ひきこもり相談窓口】

福祉課 ☎73-3015

県ひきこもり地域支援センター「アンダンテ」☎087-804-5115



▲窓口一覧はこちらから

【ひきこもり家族教室「マーガレットの会」】 要予約

時 9月8日(火) 13:30～15:00

場 豊中町農村環境改善センター

内 経験者のメッセージ、座談会

申問 福祉課 ☎73-3015



▲申し込みはこちらから